

# 2020年度 学校自己評価シート

認定こども園こどもむら さくらのもり

目指す子ども園像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達に未来を切り拓く能力を育むこども園</li> <li>・保育者も共に学び、成長していくこども園</li> <li>・地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園</li> </ul>
----------	--

達成度	
A	ほぼ達成（8割以上）
B	概ね達成（6割以上）
C	改善必要（4割以上）
D	不十分（4割未満）

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園教育保育要領改訂に添い、子どもの様子から保育課程を見直し、未来を切り拓く力を育む。</li> <li>・保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。</li> <li>・地域と協働し、子ども・子育ての環境を広げていく。</li> <li>・保健衛生及び安全管理に取り組み、安心安全な保育環境に努める</li> </ul>
------	--

## 学校自己評価

年度目標				年度評価（令和3年2月25日 現在）		
番号	現状と課題	評価項目	取組み状況	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	認定こども園教育保育要領改訂に基づき、保育課程を見直し、生きる力や未来を切り拓く力を再考して、指導計画につなげていく。保育環境の充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画を作成・実施</li> <li>・物的、人的保育環境の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画は育ってほしい姿や10の姿を目標にしている。</li> <li>・日々の記録や保育計画の自己評価を行い、子どもの理解に繋げている。</li> <li>・保育の語いを大切に小グループで話し合い考察したり見直したりする。</li> <li>・ワクワクドキドキするような遊びの提供や導きができる。</li> <li>・保育室や園庭の保育環境の見直しや改善に努めながら、子ども達のやる気を引き出し「生きる力」を育てている。</li> <li>・ブログや可視化を保護者と共有し、保育や子どもたちの様子を伝えることで保護者とのコミュニケーションを図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育計画に基づき、保育の評価を行い環境の見直しを行った。話し合いの機会が、コロナの影響も少し少なくなった。</li> <li>保育の可視化を掲示したり、ブログの発信をしているが、見られていない保護者もいて発信の仕方や伝え方を共有していきたい。園庭を広げたことにより、体力面が充実した。</li> </ul>	A	改善点を確認し、より良い環境の見直しを行った。話し合いの機会を工夫していく。
2	職員研修の充実と働き方の改善をはかる。保育教諭だけでなく、保育に携わる全職員が学び合える環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修・園内研修に参加し資質向上に努める</li> <li>・働き方の改善</li> <li>・組織づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会で学んだことをまとめ、職員会議などで提供し共有化を図っている。</li> <li>・クラスに1台パソコンを準備し、リモート研修など新しい学びの形から他の職員と共有している。</li> <li>・就業規則に基づく労務管理や働き方の改善に取り組む。</li> <li>・加配職員やフリー職員を配置し有給消化や休憩が取れるよう配置をしている。</li> <li>・園務員の配置により、雑務の軽減につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい学びの形ができた（リモート研修）ことにより後半は研修を行うことができた。</li> <li>休憩や有給など取得しやすいように声掛けをし、働きやすい環境づくりに力を入れてきた。</li> </ul>	A	園内研修を充実させ、子ども理解や安全などについて学んでいきたい。
3	地域と連携しながら、在園児に関わらず、子どもを安心して子育てできる環境を目指す。子ども・子育て関係の情報発信や地域貢献を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援の実施と役割</li> <li>・保護者支援</li> <li>・地域連携と園児の見守り</li> <li>・社会とのつながり</li> <li>・小学校接続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時預かり、子育て相談（栄養、健康）、子育てひろばなどの地域子育て支援の実施をしている。</li> <li>・保護者のニーズや把握に努め、要望や苦情に対応するためアンケート調査や懇談会などで意見を伝えやすいようにしている。</li> <li>地域清掃を行ったり、地域で活動をしている人を招いて子どもと活動してもらったりしながら連携や見守りが出来るようにしている。</li> <li>・ホームページなどで、アンケート調査や自己評価を公表していく。</li> <li>・SDGS（持続可能な開発目標）を意識した保育の気づきに取り組もうとしている。</li> <li>・アプローチャリキュラムを作成し、小学校との接続期の保育を考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍にあって地域子育て支援が十分でなかった。保護者のニーズや要望には向き合ってきた。</li> <li>コロナの影響で地域の方との交流や行事などが出来なかった。小学校との交流ももう少し増やしてアプローチしていきたい。</li> </ul>	B	保護者のニーズには答えていきたいが、一方的な一部の意見にならないよう話し合い、解決していきたい。
4	子ども環境の安全管理や感染症対策、外国人の児童の受け入れ、障害児の受け入れなど多様な子どもたちの命を守るため全職員が学び合い共通理解していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理（事故防止対策）</li> <li>・自然災害対策</li> <li>・保健衛生対策</li> <li>〈アレルギー児・特別支援児・多国籍児の受け入れ〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施（地震・火災・水害・不審者対応）</li> <li>・事故防止マニュアルの見直し</li> <li>・安全点検（日・週・月）の実施</li> <li>・リスクマップの見直しとヒヤリハットの検証</li> <li>・嘔吐処理法の研修を看護師を中心に年2回実施</li> <li>・施設内の消毒、手洗い指導など衛生管理の徹底をする</li> <li>・児童・職員の健康チェック体制をしっかりと行う</li> <li>・アレルギー児の提供の確認を全職員で共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全点検・避難訓練など、子どもを守るための対策を行い、災害や事故に備えて保育している。</li> <li>児童や職員、来訪者の検温やマスク、消毒などコロナや他の感染症に対する対策を行っている。</li> </ul>	A	日々変化していく安全面や見守り対策を職員で共有していきたい。
					A	引き続き、保健衛生の対策をしていく。多様な園児の受け入れ、アレルギーにも十分配慮していく。

## 学校関係者評価

実施日：令和3年 2月 25日
学校関係者からの意見・要望・評価等
コロナ禍にあり、工夫して行っている。改善点を確認し今後もより一層の努力を行ってほしい。
リモート研修を取り入れるなど資質向上に努めている。働きやすい職場環境を考え離職率低下をはかっている。
地域との交流や小学校連携をより一層努力して行ってほしい。
・安全のための点検や訓練などを定期的に行い対策している。 ・保健衛生対策も徹底している。